



議会だより

No.141 2023.4.17 発行

お
し
の
え

表紙 紅白の梅の花

- 当初予算・主な事業、補正 …………… P2 ~P3
- 当初予算質疑・補正予算質疑、人事案件 …… P3
- 議長就任あいさつ、臨時会 …………… P4
- 新体制紹介 …………… P5
- 議案リスト …………… P6
- 総務建設産業常任委員会審査報告 …………… P7
- 教育民生観光常任委員会審査報告 …………… P8
- 一般質問 (6名) …………… P9 ~ P14
- 新人議員紹介 …………… P15

裏表紙 バトンをつなぐ
編集後記

災害復興、支え合い予算 **決定**

令和5年度予算

一般会計 85億7,500万円

(対前年比 2億2,500万円減 (△2.6%))

一般会計		特別会計		(千円以下切捨)
国民健康保険特別会計	15億 48万円	介護保険特別会計	14億4,211万円	
水道特別会計	2億4,055万円	後期高齢者医療特別会計	1億6,350万円	
飯田高原診療所特別会計	6,939万円			

全会計 119億9,104万円

(対前年比 1億3,265万円減 (△1.1%))

一般会計の内訳

(歳入)

町税	11億5,410万3千円
地方交付税	25億円
町債(借入金)	3億2,956万6千円
国庫支出金	9億6,227万1千円
県支出金	9億9,334万4千円
繰入金	14億 913万7千円
その他	12億2,657万9千円

(歳出)

人件費	15億 215万6千円
扶助費	5億1,649万9千円
補助費	11億2,206万1千円
普通建設事業費	12億9,553万8千円
災害復旧事業費	10億2,683万3千円
積立金	1億8,031万7千円
公債費(償還金)	6億8,409万4千円
物件費	17億 376万2千円
繰出金	4億5,439万8千円
その他	8,934万2千円



主要事業

・災害復旧費	10億2,683万円
・釣住宅宅地造成事業	1億2,401万円
・文化センター舞台照明改修事業	1億1,288万円

・重層的支援体制整備事業 (住民のささえあい 他)	4,434万円
・改良住宅建替事業 (書曲)	1,939万円
・子育て世帯応援事業	4,300万円

令和4年度補正予算

◎特別会計

	補正額	補正後額
国民健康保険	△4,441万8千円	15億4,428万2千円
水道	△244万5千円	1億3,135万9千円
飯田高原診療所	△269万3千円	6,678万3千円
介護保険	2,584万5千円	15億4,859万9千円

◎一般会計

補正額	△3億 931万3千円
補正後額	87億2,713万円

当初予算質疑

増田裕子議員

Q 公共施設総合管理等委託53、264千円の内訳と、昨年より約1千万円増えた理由は。

A 大吊橋施設受付788万8、922円、九重グリーンパーク受付2、166万9、276円、町道維持管理1、015万1、450円、文化センター夜間受付324万2、523円、新規に来年度から吊橋清掃委託1、031万1、637円が増えた理由である。

佐藤明郎議員

Q 指定管理料と別に「コロナで赤字になった時に備えて」との理由で、別に100万円の予算が、特定のものだけに付けられている。他の部分でも同じことが予想され、整合性が取れないではないか。

そのため補正予算の仕組みもある。

A 指摘された施設は、事象が発生した場合、対応に緊急性が求められるため、予め確保させてもらう。

Q 釣住宅の造成は大きな期待をしているが、町の財政負担を軽減させるため、民間を活用した「プロポーザル方式」を提案したが、検討内容を伺う。

A コンサルタントに委託して、基本設計、実施設計しているので、今回は町の方で進めたい。



人事案件

3件

同意

教育委員会教育長

時松 栄子さん（飯田・奥郷）



教育委員会委員

赤峰 勝也さん（飯田・湯坪下）



固定資産評価審査委員会委員

野上 清人さん（東飯田・奥野）



議長就任にあたって

議長 有吉 富生



この度二月の改選後の臨時議会において議長に選任をいただき、重責に身の引き締まる思いです。

九重町も長きにわたり人口一万人を死守していく、取り組みをしてきたところですが、近年の人口減少には歯止めがかかりません。少子高齢化、物価高騰、後継者問題等々の町が対策を検討していかねばならない課題がたくさんあります。

また、この三年間はコロナ禍での感染防止対策や令和二年の豪雨災害の復旧と町にとつては通常の事業ができない状況であったと思われまます。

コロナ禍もまだ予断は許されませんが、早く元の活力ある生活に戻れるよう、行政と議会が一体となって取り

組んで行かなければなりません。

町の基幹産業の農林業と観光を展させ、地熱や太陽光の自然エネルギーにも期待をして、町民の様々な声を町政に反映させ町民が「安心して暮らしていける町づくり」に議員全員で取り組んでいきます。

町民の皆様のご理解とご協力をお願い致しまして、就任のあいさついたします。



第1回臨時議会(R5.1.17) 議案一覧

議案番号	件名	結果
第1号	工事請負変更契約の締結について	可決
第2号	令和4年度九重町一般会計補正予算(第14号)	可決
陳情第6号	飯田東部地区マラソン練習コースの政策道路としての総合整備計画に関する陳情書の陳情取下げ	取り下げ 許可

第2回臨時議会(R5.2.16) 議案一覧

議案番号	件名	結果
第3号	工事請負変更契約の締結について	可決
第4号	工事請負契約の締結について	可決
第5号	令和4年度九重町一般会計補正予算(第15号)	可決
第6号	令和4年度水道特別会計補正予算(第4号)	可決
第7号	監査委員の選任について	同意

新体制紹介

正副議長

職名	氏名
議長	有吉富生
副議長	増田裕子

議会運営委員会

職名	氏名
委員長	佐藤明郎
副委員長	菅原美好
委員	大津留敏加
委員	土井眞一郎
委員	岩尾茂樹
委員	岐部俊哉

議会DX(デジタル変革)特別委員会

職名	氏名
委員長	増田裕子
副委員長	河野克輝
委員	岐部俊哉
委員	野上香代子

総務建設産業常任委員会

職名	氏名
委員長	岐部俊哉
副委員長	野上香代子
委員	菅原美好
委員	有吉富生
委員	土井眞一郎
委員	佐々木信介

議会広報特別委員会

職名	氏名
委員長	野上香代子
副委員長	土井眞一郎
委員	岩尾茂樹
委員	岐部俊哉
委員	矢野春美
委員	河野克輝

監査委員

職名	氏名
委員	土井眞一郎

教育民生観光常任委員会

職名	氏名
委員長	岩尾茂樹
副委員長	大津留敏加
委員	佐藤明郎
委員	増田裕子
委員	矢野春美
委員	河野克輝

日出生台演習場対策特別委員会

職名	氏名
委員長	野上香代子
副委員長	佐藤明郎
委員	大津留敏加
委員	岐部俊哉
委員	佐々木信介
委員	矢野春美



第1回定例会議案目録

No	付託	案 件 名	結 果
議案第 8 号	総建産	組織機構の変更に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	可 決
議案第 9 号		九重町個人情報保護法施行条例の制定について	
議案第 10 号		職員の給与の特例に関する条例の一部改正について	
議案第 11 号		職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例の一部改正について	
議案第 12 号		各種委員会の委員等の報酬及び費用弁償条例の一部改正について	
議案第 13 号		九重町空家等に係る適切な管理、措置及び活用に関する条例の制定について	
議案第 14 号		九重町過疎地域持続的発展計画の一部変更について	
議案第 15 号		国民健康保険税条例の一部改正について	
議案第 16 号	教民観	国民健康保険条例の一部改正について	
議案第 17 号		健康ここのえ21計画策定委員会設置条例の制定について	
議案第 18 号		九重町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例等の一部改正について	
議案第 19 号		九重町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	
議案第 20 号		九重町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	
議案第 21 号	無	令和4年度九重町一般会計補正予算（第16号）	
議案第 22 号		令和4年度国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	
議案第 23 号		令和4年度水道特別会計補正予算（第5号）	
議案第 24 号		令和4年度飯田高原診療所特別会計補正予算（第3号）	
議案第 25 号		令和4年度介護保険特別会計補正予算（第4号）	
議案第 26 号		令和5年度九重町一般会計予算	
議案第 27 号		令和5年度国民健康保険特別会計予算	
議案第 28 号		令和5年度水道特別会計予算	
議案第 29 号		令和5年度飯田高原診療所特別会計予算	
議案第 30 号		令和5年度介護保険特別会計予算	
議案第 31 号		令和5年度後期高齢者医療特別会計予算	
議案第 32 号		宝泉寺交通センターの指定管理者の指定について	
議案第 33 号		固定資産評価審査委員会委員の選任について	
議案第 34 号		教育委員会教育長の任命について	同 意
議案第 35 号	教育委員会委員の任命について		
議案第 36 号	令和4年度九重町一般会計補正予算（第17号）	可 決	
発議第 1 号	九重町議会の個人情報の保護に関する条例の制定について		

総建産：総務建設産業常任委員会 教民観：教育民生観光常任委員会

議案第26号 採決結果

増田	河野	佐々木	矢野	岐部	野上	岩尾	大津留	土井	佐藤	菅原
賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	反対	賛成

※議長は、採決に加わりません。

総務建設産業常任委員会 審査報告

議案
8件**組織機構の変更に伴う関係条例の整理に関する条例の制定**

令和5年度組織機構の見直しにより「危機管理情報推進課」が名称変更され、「危機管理・防災安全課」となり、また、企画調整課と危機管理情報推進課を再編し、「まちづくり推進課」、「情報デジタル推進課」が新設された。さらに、これまで隣保館が所管してきた人権擁護に関する業務や部落差別解消に向けた業務の充実を図るため「人権尊重・部落差別解消推進課」が新設された。加えて、生活環境事業を「健康福祉課」から「商工観光・自然環境課」へ移管されることから、関係する8条例を改正するものであり、適当であるとの結論に達しました。

九重町個人情報保護法施行条例の制定

現行の「九重町個人情報保護条例」を廃止すると同時に、改正された個人情報保護法で委任された事項及び条例で認められた事項を規定するものであり、適当であるとの結論に達しました。

職員の給与の特例に関する条例の一部改正

職員の給与の指標をラスパイレス指数とし、指数100を基準とした給料水準とするために改正を行うものであり、適当であるとの結論に達しました。

職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例の一部改正

「町税の賦課徴収事務に従事する職員」、「保健予防に従事する保健師」、「家畜診療に従事する獣医師」に対する特殊勤務手当について、令和5年3月31日まで2年間の支給凍結延長を実施したが、今回これを1年延長することについては、更なる行政改革の一環として、適当であるとの結論に達しました。

各種委員会の委員等の報酬及び費用弁償条例の一部改正

「九重町新規就農者育成総合対策経営開始資金審査会」及び「健康ここのえ21計画策定委員会」の設置に伴い、それぞれの委員報酬について所要の追加を行うものであり、適当であるとの結論に達しました。

九重町空家等に係る適切な管理、措置及び活用に関する条例の制定

空き家については、新たに管理不全空家の定義を明確にし、それぞれに関して、国・県・市町村の責務に加え、所有者・行政区・周辺住民等の責務と努力義務を明示したものであります。また、従来の自治体の措置内容に、緊急安全措置及び勧告に従わない場合の代行措置、公表措置等が実施できるように定めるとともに、空き家の活用促進についても明示されています。これまで自治体と所有者のみでの解決方法から、新たに住民や行政区からの要請も担保される変更であることから、適当であるとの結論に達しました。

九重町過疎地域持続的発展計画の一部変更

産業の振興（5事業）と教育の振興（5事業）の計10事業を新たに追加する変更であり、いずれも地域の持続的発展に資する事業であると認め、適当であるとの結論に達しました。

国民健康保険税条例の一部改正

適正かつ安定的な運営を確保するため、県が示した標準税率を参考に町の国民健康保険税率を改正するものであり、適当であるとの結論に達しました。

国民健康保険条例の一部改正

規定中の出産育児一時金について、出産費用を平均的な標準費用に見直す観点から、支給額を現行の40万8千円から全国一律で48万8千円とするものであり、適当であるとの結論に達しました。

なお、産科医療補償制度の掛金1万2千円を含めると支給総額は42万円から50万円となります。



健康ここのえ 21 計画策定委員会設置条例の制定

当該委員会は平成24年度に策定した第2次健康ここのえ21計画の評価と、第3次健康ここのえ21計画の策定のために設置するものであり、適当であるとの結論に達しました。

九重町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例等の一部改正

こども家庭庁の設置に伴う「子ども・子育て支援法」の改正及び、「児童福祉法」の改正、また「特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業並びに特定子ども・子育て支援施設等の運営に関する基準」の改正に伴い所要の改正を行うものであり、適当であるとの結論に達しました。

なお、この改正は、デジタル化の推進に伴い、オンラインによる入所申込みの開始やICTを活用した園と保護者との連絡ツールの利用を可能とするものです。

九重町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正

家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準の改正及び児童福祉法の改正に伴うものであり、適当であるとの結論に達しました。

具体的には、利用乳幼児等の安全を確保するため、安全計画の策定や事業所外の活動における自動車利用の際の利用乳幼児の点呼や所在の確認が義務化されることや、同事業における記録の作成等を電磁的記録で行うことを可能とするものです。

九重町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正

放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準の改正に伴い放課後児童健全育成事業者が行う事業に際し、自動車使用時の児童の所在確認や感染症及び食中毒のまん延防止に係る所要の改正を行う必要があり、適当であるとの結論に達しました。



町政を質す 一般質問

6名の議員が質問

この5年間、町内出生数が激減・
危機感をもって積極的な少子化対策を!

…… 支える行政と住民が一体となって危機を
乗り越えねばならない



増田 裕子

増田 急激な出生数減少の要因をどう把握しているか。新しい少子化対策の取り組みはあるか。

熊谷企画調整課長 この5年間で出生数は約半減している。また、25～39歳の女性数は約20%の減、同未婚率は65%に及んでいる。新たな取り組みとしてはないが、未婚率の改善と女性人口の増加をはかることが重要と考える。

増田 自然を活かしたアスレチックパークを誘致して子育て世代の満足度を高め、移住やワーケーションを促進してはどうか。

日野町長 提案をしっかりと検討して住民の皆さんと協議しながら進めていきたい。

観光振興 九重版 DMO＝観光地域づくり法人の設立について

増田 懸案であった観光振興の組織づくり、新年度予算1,500万円の計画と内容は。

志賀商工観光・自然環境課長 地域にある多様な産業や文化、自然、人をつなぎ、観光を手段として民間活力を生かした地域づくりを推進する中心の組織づくりである。外部専門員を2年間配置し、農業や交通業など多彩な分野から参集した設立委員会をまず設置する。スピード感をもって進めていく。

DMO＝地域の多様な関係者を巻き込みつつ、科学的なアプローチを取り入れた観光地域づくりを行う舵取り役となる法人（観光庁）

農業振興について

増田 令和2年以降の災害が農業生産に与えている影響と対策・積極的な農地の斡旋や紹介は。

武石建設課長 令和2年以降の耕地災害復旧状況 査定416件中契約済み48%、完成34%

吉光農林課長 水田の作付面積は減っており、生産高の数値化は難しいが、実質所得が圧迫されていると感じている。町外からの企業参入は、11社約74ha、ピーマン、キャベツ、白ネギ、ハーブ等。町内の事業者や農地中間管理機構を活用した農地集積も進んでいる。新たな担い手確保は重要で、積極的に取り組んでいきたい。

「子育てしやすい町・九重町」 「子育てしやすい職場・九重町役場」に!

増田 新年度から変わる役場の組織体制の基本的な考え方は。

日野町長 令和2年豪雨災害の経験を活かし、住民にわかりやすい役場へと、13課から15課に広げた。

増田 男女格差は190ヶ国中日本は104位という現状（3/2世界銀行調査）。九重町役場の女性の管理職登用計画と子育て中の働きやすさはどうか。

友松総務課長 管理職登用は適材適所、基本は平等と考える。休暇等は国の基準に基づいて整備している。



(広報このえ 3月号6P)

町をあげて、生産者米価上昇へ

……… しっかりできる対策をとりたい



佐藤 明郎

厳しい米作り

佐藤 厳しい農家の現状は切実、放棄地問題も解消しない、最大の要因は何だと考えるか。

日野町長 大変厳しい状況が何十年と続いている。最大の要因は価格だと考える。

立地的な効率性の悪さも含まれており、住民と共通認識をもって、解決策を提言できるよう努力する。

佐藤 米を作る政策は様々行っているが、同時に作った米を高く売ることに目を向けるべきだ。

吉光農林課長 行政が価格を決定するのは、非常に難しいが、米の販売は自由化になっている。

“特A”取るも喜べない生産者

佐藤 永年、特Aという食味の最高ランクを取っているのに価格に反映されていない。行政としてできなくとも、総合サービスで取り組み、生産者米価を上げる取り組み、その可能性はないか。

日野町長 株式会社には、やるべきことがある。様々な課題もある。できる、できないかではなく、できるようなことを検討して欲しい、ということであれば、しっかりとやって行く。

姉妹都市 佐世保

佐藤 2、3千円生産者米価が上がれば意欲が変わる。24万人の人口がある佐世保市と姉妹都市となり30年経過した。佐世保市議会と九重町議会は「住民同士の交流が今後は必要だ」との意見で一致している。

農作物、米を通じた交流を進めてはどうか。

日野町長 交流により、九重町にとっても新たな道が開けるのではないかと考えるが、大切なことは町民が自ら動くということ。積極的な取り組みにはバックアップをしたい。

生産者米価倍増計画

佐藤 米を届ける佐世保の市民にとってもメリットは大きいと考える。生産者米価を大幅に上昇できれば商工業も含め、町の活気は大きく変わる。空いた田があれば、ついでに作ろうかとなる。

町民をあげて「米価倍増計画」に取り組む、町が仕組みづくり、後押しをすべきではないか。

JAや地元精米業者との協議、協力しながら、生産者自らを巻き込んだ取り組みが今こそ必要だ。

日野町長 状況は十分理解している。しかし、JAには農業全般で協力して頂いているので協議が必要、又、直販事業の支援もしている。

議員からの提案は、十分効果があり、期待が持てるのではないと思う。

米価の上昇をしっかりできるような対策を取りたいと考える。



田んぼアート(ドローン撮影)

岐部
俊哉



不祥事の再発防止に向けて、有効で効率的な町の内部統制とは？

…………… 再発防止に向け、評価方法も含めて、今後しっかり研究していく

令和の時代を生きる! 第15弾「人づくり」は「町づくり」

不祥事の再発防止について

岐部 町民の信頼を失う不祥事は、何があったのか。
友松総務課長 ①令和3年7月に九重町の元職員による、玖珠郡水道協会の会計経費の横領事件。
②令和4年9月役場会計年度任用職員の社会保険料の徴収漏れの2件があげられる。

岐部 原因と対処はどう考えているか。
友松総務課長 ①については、準公金の管理体制に問題があったことから、横領再発防止検討委員会を設置し、九重町準公金取扱要領を決定し周知した。
②については、担当者が業務を熟知し、上司がチェックできていれば、間違いは起きなかった点で考えれば、人為的なミスに、組織体制の不備が重なった。

ICT支援員の配置について

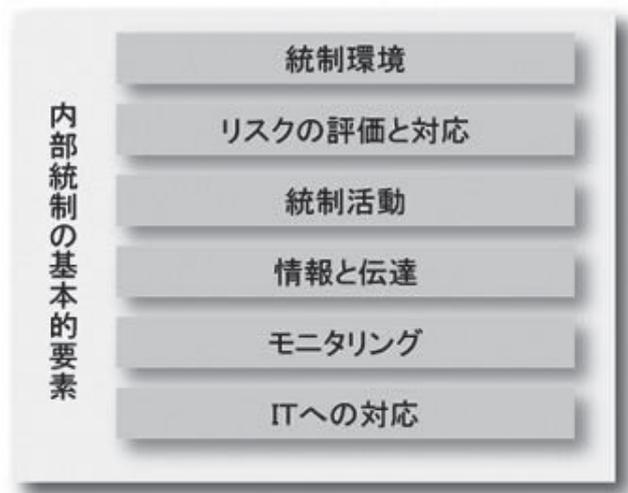
岐部 ICT 支援員の配置に係る予算額と執行状況は。
井上教育振興課長 令和4年度に計上した予算は、ネットワークの整備・強靱化とICT支援員派遣の人件費を含めて、1,785万9,000円を計上し、6月～7月の配置を計画したが、実際に配置ができたのは3学期からとなった。問題の原因は進捗管理であり、各月また四半期ごとの進捗状況をしっかり確認しながら、担当者と情報を共有して、再発を防止していく。

岐部 今後の対応で何が大切と考えるか。
井上教育振興課長 目的を達成するためには、学校と教育委員会、行政がしっかり連携しながら業務を遂行していくことが重要である。

内部統制について

岐部 内部統制として執行部内での機関は何かあり、どのようなリスク管理がなされているか。
友松総務課長 機関としては課長会がある、その中で意見交換や議論だけでなく、各論で具体的な案件に対して対策を協議している。

岐部 効率的で効果的な行政運営に必要なことは何か。
友松総務課長 効率的、効果的な行政運営には、やはりPDCAと評価が大事である。



岐部 行政職員を束ねる上で、町長として常に考えている指針は何か。
日野町長 内部統制の問題は、私自身の大きな責任だと痛感している。指針としては、まず、自らが倫理観をもって誠実に取り組むこと。また、評価の数値化については、今後研究をしながら、お互いが信頼し合える環境をつくっていく。

介護、福祉、子育て支援について ニーズに応えるための財源を



矢野
春美

…………… 今までのプロジェクトをしっかりと充実させていく

介護保険事業の現状は

矢野 県内で九重町の施設サービス利用の割合が他地域に比べ突出して多いがその理由は。

竹尾健康福祉課長 ①郡内は施設サービスが相対的に充実している。要介護1、2の方の利用が多いのが特徴。②高齢者のみや独居の世帯も多く、寒い冬の時期などに利用される方が多いのではと推測。

矢野 在宅サービス利用者の人数と現状は。

竹尾健康福祉課長 416人が利用されている。主な介護者の7割が60代以上。認知症への対応や入浴、トイレの介助に不安を感じている方が多い。

矢野 介護者のストレスや悩みへの対応は。

竹尾健康福祉課長 毎年秋に家族介護者交流事業を開催。同じ境遇の人との交流で、「また頑張ろう」、「気持ちが楽になった」との声があり。ケアマネージャーも「介護者のストレス」に目配りするようになっている。24時間通話無料の「ここのえ健康ダイヤル」で介護の相談も受けている。

矢野 今後の課題と対策は。

竹尾健康福祉課長 ①フレイル対策。フレイルは85歳を超えると急増。この時期への適切な支援が重要。②認知症対策。ただ、認知症への理解不足もあり事業の利用者が少ない。理解促進に努める。③介護サービスを提供する側の人材不足。今後施設ごとに聞き取り調査をする。

フレイルとは、体と心の働きや社会とのつながりが弱まった状態。健康から要介護へ移行する中間の段階である。

子育て世代への支援は

矢野 給食費の無償化は財源がないので予定していないとの答弁を以前に伺ったが、予算の都合がつけば考えられるのか。

2022年度、全国約1,700市区町村の3割が無償化を実施。給食費助成の動きが全国的に加速してきている。子育て世代へは多面的支援が必要だが、まず給食費や医療費の助成を充実させ子育て世代を呼び込む施策を。

井上教育振興課長 将来に亘って財源が確保できるかが課題。



給食風景(野矢小学校のホームページより)

自主財源への取り組みは

矢野 多様な施策を行うには自主財源の発掘が必要。今後新しく財源となり得る事業はあるか。

熊谷企画調整課長 現在、対象となる事業はないが、長期的な計画としては、「九重町過疎地域持続的発展計画」を基本に取り組んでいる。

矢野 短期的にはふるさと納税やクラウドファンディングの手法を基にした財源作りはどうか。

熊谷企画調整課長 ふるさと納税は非常に重要な財源、クラウドファンディングについても有効な手段と考えている。調査・研究を図っていきたい。

矢野 地熱開発事業についてはどう考えているか。

志賀商工観光・自然環境課長 町にある資源を活用した有用な手段の一つと考えるがコストの問題、掘削におけるリスクなどから慎重な判断が必要。

岩尾
茂樹



町道の整備について

(用地の確保は寄附だけでなく、今後は用地買収も考えるべきではないか)

…………… 現在、生活道路は寄附で、政策道路は用地買収で整備を行っている。用地買収はいろいろなところに波及することが考えられるので、慎重に検討する必要があると思っている

町道の整備について

用地の確保は

岩尾 用地の確保はどのような方法でなされているか。

武石建設課長 生活道路は寄附で、特定の目的を持って整備する政策道路は用地買収で行っている。

岩尾 寄附が受けられない場合はどうするのか。

武石建設課長 用地が確保できないので道路の整備はできない。路線のルートや線形を変えることも検討する必要がある。

岩尾 用地の確保が困難な場合は、誰が責任を持って解決するのか。

武石建設課長 地元の関係者等と協議しながらやっていく。

用地買収も考えるべきでは

岩尾 長期間整備が進まないケースがあるが、整備は町の責務なので生活道路でも、場合によっては用地買収も考えるべきではないか。

武石建設課長 全体で考える必要があり、いろいろなところに波及してくるので慎重に検討する必要がある。

高齢者農家や小規模農家への支援について

バーコードやシール等の貼付ミスについて

岩尾 農産物出荷の際に高齢化のためバーコードやシール等の貼付ミスが生じることが報道されていたが、何らかの支援が必要ではないか。

吉光農林課長 事業者や出荷組合等の責任で対応していただきたい。

GAP, JAS 等の認証取得について

岩尾 JGAPや有機JAS等の認証取得について、必要性をどのように考えているか。

吉光農林課長 生産者が認証取得に取り組む場合は、一緒に協力や支援はしていきたいと考えている。

岩尾 高齢者や小規模農家にとっては、各種の作業や手続きが困難となるので、町が主導して取り組む必要があるのではないかと。

吉光農林課長 所得を得ることに関しては、出荷組合や事業者団体に管理していただくことが原則だと考えている。

予算に残が生じた事業補助金について

岩尾 空き家対策や農業関係等の補助金で利用が予定より少なく予算が余った事業があるが、このことをどのように考えているか。

吉光農林課長 非常に残念であると考えている。

熊谷企画調整課長 いろいろな事情があり致し方ないと考えている。

岩尾 新年度予算ではどのように予算編成したか。

吉光農林課長 必要としている部分に対して効果的な支援ができるよう、農業者の声も聴き、これまでの事業効果も検証して予算計上した。

熊谷企画調整課長 受益者あるいは希望者に寄り添った形での補助事業をしていきたいと考えている。事業を検証し新年度に活かして予算編成している。



整備が進む町道

外部人材・民間の力の活用の詳細は

…………… 九重版DMOの設立に向け外部人材の活用を図る
自治体DX、その他の事業においても専門的人材を積極的に活用する



野上 香代子

施政方針

野上 対話の機会の創出方策は。

熊谷企画調整課長 若い世代の交流機会の創出を掲げている。ワークショップ等を活用し若者の参画が図れるような形で実施していく。

野上 開かれた町政の実現の方策は。

熊谷企画調整課長 積極的な行政情報の発信を行って広報広聴の充実を図り、多くの世代からインターネットあるいはホームページで受け取れるようにしっかりやっていく。

野上 観光振興の5つの重点事業の目標値は。

- 志賀商工観光・自然環境課長** ・広域観光に向けた取り組みを行う。DESTINATIONキャンペーンに向け広域連携を行い観光振興に取り組む。
- ・DMOについては4月から外部人材を登用し早期の設立を推進する。
 - ・小松地獄園地については、今年度地盤調査を行い早期の復旧を目指す。
 - ・大吊橋の入場者数は令和5年度30万人を見込んでいる。
 - ・泉水キャンプ場も前年度より多く見込んでいる。

野上 子育て世代包括支援センターの支援内容は。

竹尾健康福祉課長 利用者目線で継続的にその親子の状況を把握しながら利用者のニーズに沿った支援をし、必要な情報提供、保健のアドバイス等をする。

野上 プラスチックゴミ再資源化の状況は。

竹尾健康福祉課長 現在、回収の方法等は具体化していないが協議はしていく。

野上 マイナンバーカードの取得率と利活用方策は。

佐藤住民課長 現在67.1%の交付率で、今後、行政手続のオンライン化が進められ手続の効率化を図る。

野上 男女共同参画の新しい取り組みはあるのか。

松尾社会教育課長 基本的な取組や啓発を行い町民への学習機会の提供も図っていく。

結婚支援

野上 結婚への支援体制と支援体制拡充の考えは。

熊谷企画調整課長 出会いの場の創出が、引き続き結婚したくても結婚に至らない独身者への支援につながる有効な手段であると考え、現在の支援に加え民間の力を最大限に活用していく。

ホームページ

野上 ホームページの改善がみられないのは何故か。

熊谷企画調整課長 最新情報が上げられていないことに関しては反省をする。重要な媒体であるという認識に変わりなく今後も改善を図る。

野上 ホームページ内の「町長の部屋」の更新は。

日野町長 失念していた。早急に更新する。



更新されたホームページ「町長の部屋」

豪雨災害復旧状況について

野上 令和2年災害、河川、道路、農地の復旧状況は。

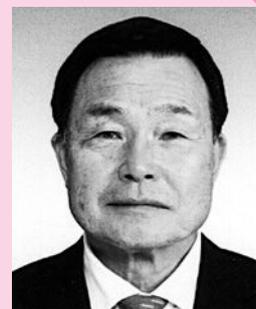
武石建設課長 令和2年災害では町道25件のうち契約済みが24件、完成が22件。

河川は、査定件数59件、契約済みが45件の完成が22件。

農地、水路、頭首工などの農業施設については契約済みが200件、そして完成については140件。

「議会だより」 新人議員紹介

- ① 議会への思いや期待
- ② 町政への思い
- ③ 立候補理由
- ④ 趣味・特技



さ さ き しんすけ
佐々木 信介
後辻

- ① 議会や議員の活動に対する認識を深め、その役割について十分理解を得ていくことが重要だと思っております。その為には意思疎通をはかるとともに、皆さんが議会に関する理解を深め、関心をもつための取り組みを積極的にやりたい。
- ② 既成概念にとらわれずに柔軟な発想で私達の育ったこの町をもっと活性化したい。かけがえない宝である「九重町の豊かな自然」を活かした農林業と観光の振興を基調として魅力ある町づくりを行いたい。
- ③ 町政に関わって、それぞれの地域に於ける課題が有る中、議会がその重要な役割を十分にはたせるよう、又、議会の意志決定に意見が反映されるように立候補しました。
- ④ 出かけるのが好きで、街をぶらぶら散歩して美味しいものを食べることに。数年前までパラグライダーでストレス発散していましたが、最近は飛べないので時間があつたらまた伐株山から飛びたいと思っています。



や の はるみ
矢野 春美
富迫上

- ① 先輩議員に学びながら、新人としてのモチベーションも忘れず、それぞれの思いを集約して町の発展に尽くせるように取り組みます。また広い世代からの女性の声を反映できるように発言します。
- ② 少子高齢化のスピードは予測以上に早まるばかり。若者世代が将来の夢と希望を持てるよう、九重町に住みたいと思えるような施策を積極的に進めるべきと思います。また九重町の自然、資源をいろんな角度から積極的に活かし行動する町政を目指したいし応援したいです。
- ③ 二年前に母の介護のため九重町に戻り、四季折々の美しい自然に癒されました。他所には無い九重町の自然と資源は世界に打って出られるほどの素晴らしい財産です。この自然を守り、町民が豊かになるために何か活かす方法はないかを一緒に考え取り組みたいと思いました。
- ④ ドライブ、乗馬、音楽、一人カラオケでストレス発散、時々「王女未央」を観て現実逃避します(笑)。



かの かつき
河野 克輝
下尾本

- ① 議員に立候補した方々は九重町を良くしたい！との思いで立候補したと思います。その代表12名が力を合わせればできないことはないのではないのでしょうか！
想いをぶつけあい未来の為に議論をしていきます。
- ② 高齢化、少子化はこれからもっと進んでいきます。災害や福祉に多くのお金が必要になっていくでしょうから、自主財源を確保する為にも吊橋のりニューアルや九重の温泉や自然を発信し観光客を呼び寄せていただきたい。そして移住者を呼び込む為の発信と受け皿を整備していただきたい。
- ③ これからの世界、日本、地方は、大きな転換点だと思っており、厳しい世の中になっていくと考えています。子育て世代が今から行動し、未来をより良い町にする為の旗振り役として立候補しました。
- ④ インスタグラムで町政のことやこれからの活動を発信していきたいと思っています。猟に興味があり同行したいと思っています。



第17回

のがみひな祭り実行委員会

今回から各地区で活動している
いろいろな団体を紹介します



のがみひな祭りの開催が始まったのは、2013（平成25）年3月3日～10日。勢いのある地域づくりを目的に交流の中心である豊後中村駅舎にて初開催。ひな飾りは、ひな祭り実行委員や野上こども園児たちが出展しました。接待、折り紙、餅つき、餅まき等が行われ来場者は494名でした。期間中は実行委員が交代で接待しました。今回が8回目、コロナの影響で今年は3年ぶりに開催出来た事を嬉しく思っています。

議会だよりについて
ご意見をお聞かせください。
【議会事務局：76-3814】

令和5年4月17日
発行／九重町議会 編集／議会広報特別委員会
〒879-4895 大分県玖珠郡九重町大字後野上8番地の1
☎ 0973-76-3814 ・ FAX 0973-76-3809
メール(議会事務局) gikai@town.kokonoe.lg.jp

編集後記

議員の改選があり3名の新人議員が加わり12名の議員で令和4年度の補正予算、令和5年度の施政方針・教育行政方針・当初予算審議を行いました。2つの常任委員会では説明を受け、質疑を終え令和5年度が始まります。詳しくは2ページ3ページに掲載しています。ご覧下さい。

前回の議会だよりで「みなさんありがとうございます」と委員長としてお別れの挨拶したのですが、改選を経て又、広報委員長を拝命しました。

微力ながら皆さんに読んでいただけるような議会広報を作りたいかなければと心新たに奮起しているところです。これから6名の広報委員で力を合わせ読みやすい紙面を作って参ります。町民の皆さんのご意見を頂けると有難いなあと思っています。どうぞよろしくお願致します。

野上香代子

- 広報委員長 野上香代子
- 副委員長 土井眞一郎
- 委員 岩尾 茂樹
- 委員 岐部 俊哉
- 委員 矢野 春美
- 委員 河野 克輝